

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	050801 郷土の森体験棟管理運営事業					
	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	施設等維持管理・運営	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	団体		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	郷土の森及び郷土の森学習体験等					
事務事業目的	郷土の森を市民協働のもと整備し、利活用を図り、市民の学習、体験の場とする。					
事務事業内容	「橋本ひだまり倶楽部」との連携を図り、「郷土の森学習体験棟」を拠点として、里山整備のモデルとしての「郷土の森」をより多くの市民の協力を得て整備したり、利活用する中で市民の学習や体験の場とする。					
計画法令	橋本市都市公園条例及び施行規則、郷土の森整備基本計画					
成果指標	1. 年間施設稼働率 2. 年間使用料収入					
活動指標	1. 利用者数 2. 開館日数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ % ]	42.70	56.16	53.28	52.45
	成果指標2	[ 円 ]	5,755.00	0.00	4,200.00	41,580.00
	活動指標1	[ 人 ]	1,911.00	1,939.00	2,670.00	2,743.00
	活動指標2	[ 日 ]	156.00	205.00	195.00	192.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	<p>学習体験棟等の維持管理及び運営は橋本ひだまり倶楽部に委託しており、市民協賛の理念のもと運営されている。橋本ひだまり倶楽部は独自に国県から補助金を受ける等で自己資金を確保し、郷土の森の保全に努めている。</p> <p>また、自然体験活動について、豊かな自然がある郷土の森を活動拠点に、四季を感じられる活動体験を行っており、2016年度自然体験活動支援事業の「第15回トム・ソーヤスクール企画コンテスト」において自然体験全国ベスト50に入賞した。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	多くの市民に活用していただくようPRを図るとともに、収益を上げるため民間団体や市外の活動にも利用を拡大させていく。委託料については老朽化している施設の修繕も含んだ金額であり削減は困難である。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	6	0	4	41	10
		一般財源	(5)	2,103	2,437	2,269	2,128	2,477
	直接費	事業費	(6)	2,109	2,437	2,273	2,169	2,487
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	2,109	2,437	2,273	2,169	2,487
	人件費	人件費	(9)	1,523	2,098	2,179	612	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.18	0.24	0.25	0.10	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.18	0.24	0.25	0.10	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	3,632	4,535	4,452	2,781	2,487	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	55	69	69	43		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030010

教育委員会事務局

中央公民館

事務事業	050803 中央公民館事業					
	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民					
事務事業目的	市民の文化・芸術への興味・関心を深めるため、発表の機会・場所を設ける。子育てサークルのリーダーのスキルアップを図り、子育てについての情報交換を行う。県公民館連絡協議会等の主催事業への参加。					
事務事業内容	(1)公民館まつりは、8地区公民館の運営委員会、サークル等が演芸発表、作品展示、模擬店等を実施する。 (2)市民総合文化祭は、市民が作品の展示や、コーラス等の発表を行う。 (3)古典芸能の普及を図るため、橋本市民狂言を開催する。 (4)県美術展橋本展を開催する。 (5)子育てよもやま交流事業で、各地区公民館の子育てサークルのリーダー育成を図る。 (6)県公民館大会等へ積極的に参加する。					
計画法令	なし					
成果指標	公民館まつり作品数 【成果指標1】 市民総合文化祭出展数 【成果指標2】					
活動指標	公民館まつり開催日数【活動指標1】 市民総合文化祭開催日数【活動指標2】					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	1,079.00	1,121.00	1,128.00	1,145.00
	成果指標2	[ 人 ]	332.00	322.00	312.00	181.00
	活動指標1	[ 日 ]	2.00	2.00	2.00	2.00
	活動指標2	[ 日 ]	3.00	3.00	4.00	4.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	市民総合文化祭は昨年度に続き4日間の開催となり、多くの来場があった。県展橋本展は、昨年度から始まったジュニア展の同時開催により、好評であったが、来場者数は昨年より減少した。市民狂言は、今回より「こども狂言」を同時開催することにより、来場者の増加につながった。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	市民総合文化祭、県展橋本、市民狂言の委託について、事業内容の見直し及び委託料のあり方を検討していくこと。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	187	192	146	117	120
		一般財源	(5)	5,502	5,698	5,813	4,931	5,335
	直接費	事業費	(6)	5,689	5,890	5,959	5,048	5,455
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	5,689	5,890	5,959	5,048	5,455
	人件費	人件費	(9)	913	4,823	6,185	7,302	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.10	0.55	0.69	0.84	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.10	0.55	0.69	0.84	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	6,602	10,713	12,144	12,350	5,455	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	100	164	187	193		

事業達成のための細事業	整理番号	名称
	1	市民総合文化祭事業
	2	県美術展覧会橋本展委託事業
	3	橋本市民狂言委託事業
	4	その他文化・芸術イベントに関する事業
	5	県公民館連絡協議会負担金等業務
	6	伊都郡・橋本市公民館連絡協議会負担金等業務
	7	社会教育主事講習会負担金業務
	8	研修会等参加負担金業務
	9	青少年のための科学の祭典に関する業務(6年に1回、平成23年度開催)
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

		050806 紀見地区公民館管理運営事業				
事務事業	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民、地区公民館					
事務事業目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>多様な機能をもつ施設としての適正管理と安全性確保</li> <li>生涯学習活動の支援 (自主学習・文化活動・サークル活動 等)</li> <li>住民のニーズに合った学びの場と機会の提供 (教養の向上・健康の増進・ふるさと意識の醸成)</li> <li>住民相互、学校と地域の交流の促進と、主体的に地域づくりに参加する機会の創成</li> </ol>					
事務事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>貸館業務 (サークル登録は44団体)</li> <li>公民館運営委員会、サークル連絡協議会、ナチュラルブレイク実行委員会の事務局</li> <li>幼児・子ども・成人・高齢者対象事業や地域交流の各種事業の開催 (子育て親育ち支援事業、こどもルーム、4校交流会、3世代交流コンサート、紀見茶論、ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、料理教室、陶芸教室、カラオケ大会、みどりのさくらまつり、ふる里よいとこ探しナチュラルブレイク、観月と邦楽の宴 等)</li> <li>公民館施設の修繕・維持管理業務</li> </ol>					
計画法令	社会教育法、公民館設置及び管理条例、文教施設利用に関する条例					
成果指標	<ol style="list-style-type: none"> <li>年間事業参加人数</li> <li>サークル活動及び一般貸館参加人数</li> </ol>					
活動指標	<ol style="list-style-type: none"> <li>年間事業実施回数</li> <li>サークル活動及び一般貸館件数</li> </ol>					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	3,481.00	4,558.00	5,049.00	6,059.00
	成果指標2	[ 人 ]	12,332.00	12,042.00	11,897.00	10,857.00
	活動指標1	[ 回 ]	70.00	78.00	92.00	90.00
	活動指標2	[ 件 ]	1,231.00	1,044.00	1,075.00	972.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	<p>住民のニーズに沿った事業を企画実施できるよう配慮することにより、特定の参加者だけでなく、参加者の地域や年齢層の幅が広がりつつある。また、公民館報の全戸配布、ポスター、チラシ配布などの広報活動の成果として、主催事業の参加者が増えている。社会共育施設の本来の目的のひとつである「学びの場」としての利用は増加傾向である。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>高齢化に伴うサークル数・サークル人数が徐々に減少しているが、事業内容の工夫や広報の努力等により事業参加人数は増加している。引き続き創意工夫により施設の目的に沿った活動を行うこと。また、施設が老朽化が進んでいることから建て替え等の検討を行うこと。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	821	348	327	337	1,439
		一般財源	(5)	11,223	11,839	11,838	12,006	11,275
	直接費	事業費	(6)	12,044	12,187	12,165	12,343	12,714
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	12,044	12,187	12,165	12,343	12,714
	人件費	人件費	(9)	730	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.20	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.20	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	12,774	12,187	12,165	12,343	12,714	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	193	186	188	192		

事業達成のための細事業	整理番号	名称
	1	地区公民館管理業務
	2	ふる里よいとこ探しナチュラルブレイク委託事業
	3	講座・サークル活動等事業
	4	図書室・絵本の家運営
	5	その他地区公民館管理運営に関する業務
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

050807 学文路地区公民館管理運営事業						
事務事業	施策体系 050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進					
	事業区分1 総務・庶務事務 事業期間 平成18年度 ~					
	事業区分2 継続 実施主体 市					
	事業区分3 市単独事業 事業区分4 自治事務					
対象	学文路地区公民館、市民、地域住民					
事務事業目的	・施設の維持管理と安全性確保を行い、誰もが安心して利用できる場の提供を行う。・生涯学習の場として地域共育コミュニティ本部との連携を強化する。・地域のパイプ役となり、地域文化や人材の掘り起こしで地域全体が活性化し、真の故郷として住みつつたくなる様な地域となるよう支援する。					
事務事業内容	1、施設、設備の日常的保守点検と貸館業務(サークル数20団体)。2、一般成人向け文化的事業「総合文化祭」「暮らしの歳時記」「いとうまし」「パソコン教室」「視察研修」と「グラウンドゴルフ」「健康出前講座」などの健康づくり事業。「盆踊り大会」3、児童・生徒対象事業の「夏休み・冬休みこども教室」。4、乳幼児対象子育て支援事業「わんぱくKID'S」5、人権啓発推進講演会。6、市内公民館連携事業。7、学文路・清水地域共育コミュニティ本部への参加。					
計画法令	教育基本法、社会教育法、橋本市公民館設置および管理条例、文教施設利用に関する条例					
成果指標	1. 主催事業関連・人権講演会の参加人数 2. サークル等貸館への参加人数					
活動指標	1. 事業実施回数 2. 館利用件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	3,797.00	3,525.00	2,162.00	1,932.00
	成果指標2	[ 人 ]	7,574.00	8,540.00	8,087.00	9,849.00
	活動指標1	[ 件 ]	105.00	123.00	103.00	95.00
	活動指標2	[ 件 ]	775.00	750.00	675.00	827.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	元々受け継がれている地域コミュニティが、公民館を核とした学文路・清水地域のコミュニティとして、広がりを持ち始めている。子育て支援や老々介護への意識も強い。三年目となる「地域を語ろう～学文路カフェ・マルシェ」も、地域に目を向け、自治意識の向上や世代間の意思疎通に繋がっている。通年開催の「わんぱくKID'S」や「ピンポン教室」「健康出前講座」なども、各回ごとの参加者はまだまだ少ないが、世代交流などにも繋がっている。我慢強くコツコツと継続することに、コミュニティへの意識付けが育まれる。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	旧学文路中学校跡地で新築されるにあたり、同敷地にあるこども園・避難体育館との有効利用できるよう調整を行うこと。また、より魅力的な公民館となるよう実施事業等利用者の増加へとつながる工夫を検討すること。					

(単位：千円)

	NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	(1)	0	0	0	0	
	国庫支出金	(2)	0	0	0	0	
	都道府県支出金	(3)	0	0	0	0	
	地方債	(4)	0	537	653	0	
	その他	(5)	11,636	13,163	12,405	12,211	12,206
	一般財源	(6)	11,636	13,700	13,058	12,211	12,206
	事業費	(7)	7,338	7,293	0	0	
	うち人件費	(8)	4,298	6,407	13,058	12,211	12,206
	人件費以外(6)-(7)	(9)	7,338	7,293	0	0	
	人件費	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	(正職員数:賦課)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	(正職員数:配賦)	(12)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	職員数合計(10)+(11)	(13)	18,974	20,993	13,058	12,211	12,206
	トータルコスト (6)+(9)	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150	
	住民基本台帳人口	(15)	287	321	202	190	
市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)							

整理番号	名 称
1	(消防訓練、消防設備・電気設備・浄化槽設備等の保守点検)
2	(総合文化祭)
3	(盆踊り大会)
4	(先進地視察研修)
5	(グラウンドゴルフ)
6	(ふれあいハイキング)
7	(暮らしの歳時記・いとうまし)
8	(わんぱくKID'S)
9	(各種夏休み冬休み子ども教室)
10	(人権啓発講演会)
11	(公民館まつり、市民グラウンドゴルフ)
12	(その他、貸館などの管理業務)
13	(共育コミュニティ通学合宿)
14	地区公民館管理業務
15	講座・サークル活動等事業
16	その他地区公民館事業
17	
18	
19	
20	



# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

事務事業	050808 隅田地区公民館管理運営事業					
	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民（主に地域住民）					
事務事業目的	<p>・地域連帯感の醸成と住民一人ひとりが街づくりに参加できるシステムを構築する。・施設の適正管理と安全性の確保を行い、生涯学習の場として利用の促進を図る。橋本市隅田地区公民館は住民のニーズにあった教育及び文化に関する各種事業を行うとともに教養の向上と健康の増進を図り、情操豊かな生活文化の振興、社会福祉の増進に努め、地域住民相互の親睦と交流を図ることを目的として公民館事業を実施する。</p>					
事務事業内容	<p>乳幼児学級実行委員会をはじめとする乳幼児親子対象事業、介護教室実行委員会の関係事業、夏休み期間を中心とした児童生徒対象事業、料理教室などをはじめとする成人対象事業、ふれあい盆踊り大会、文化祭などの各種事業を行っている。サークルの登録は、41団体。</p>					
計画法令	社会教育法、橋本市立公民館設置及び管理条例、橋本市立文教施設利用に関する条例					
成果指標	<p>1. 隅田地区公民館主催事業参加者人数 2. サークル活動及び一般貸館参加者人数</p>					
活動指標	<p>1. 隅田地区公民館主催事業実施件数 2. サークル活動及び一般貸館件数</p>					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	5,800.00	6,600.00	6,400.00	6,500.00
	成果指標2	[ 人 ]	16,200.00	18,600.00	19,100.00	16,000.00
	活動指標1	[ 件 ]	93.00	93.00	98.00	115.00
	活動指標2	[ 件 ]	1,350.00	1,430.00	1,410.00	1,493.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	<p>公民館が主催する事業は、参加者・スタッフとともに、地域の力を借りながら連携して取り組むことが出来た。昨年度から『あやの台ブロック』の運営委員さんを選出頂き、公民館活動の新たな地域への活動が始まった。また、共育コミュニティ本部の事業に関わる中で、学校や、コーディネーターさんをはじめ地域の方々との新たな関わりが生まれる中で、公民館活動に新たな展開（来館者、参加者、講師など）がみられる。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>今後も、幅広い年齢層の方に利用して頂けるような事業の展開を図るとともに、学校、コーディネーターさんとの連携をさらに高め、中高生とその保護者を対象とした事業の展開を図っていく。さらに、共育コミュニティ事業への取り組みを、地域・学校と協力しながら進めていく。また、以前から活発な3ブロック（隅田・山内・兵庫ブロック）活動はもとより、新しく出来たあやの台ブロック活動を前に進めていくために、予算面を含め隅田地区公民館対象全域のブロック活動を推進すること。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	12,420	12,917	15,352	15,467	15,823
	直接費	事業費	(6)	12,420	12,917	15,352	15,467	15,823
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	12,420	12,917	15,352	15,467	15,823
	人件費	人件費	(9)	0	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	12,420	12,917	15,352	15,467	15,823	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	188	197	237	241		

事業達成のための細事業	整理番号	名称
	1	地区公民館管理業務
	2	講座・サークル活動等事業
	3	その他地区公民館管理運営に関する業務
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

事務事業	050809 橋本地区公民館管理運営事業					
	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民（主として地域住民）					
事務事業目的	子どもから高齢者まで心豊かに過ごしていくため、地域の中で世代を越えて学べる環境や場の形成を目指し生涯学習活動を支援する。公民館の主体はあくまでも、そこに集う地域住民であり、そのひとりひとりが、主体的に地域づくりに参画できる機会と場の提供ができればと考える。					
事務事業内容	公民館の管理及び事業の実施。管理面においては、他の地区公民館と違い、橋本商工会館の2階に位置しているため、年度始めに維持管理の契約が必要となる。事業においては、乳幼児親子対象事業、児童・生徒、成人対象、各ブロック事業等と多岐にわたる事業を行っている。また、39団体のサークル登録があり、文化、芸術、音楽、健康増進、スポーツと様々なサークル活動を行っている。					
計画法令	社会教育法、橋本市立公民館設置及び管理条例、橋本市立文教施設利用に関する条例					
成果指標	1.年間事業参加人数 2.サークル活動及び一般貸館参加人数					
活動指標	1.年間事業実施回数 2.サークル活動及び一般貸館件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	6,445.00	5,007.00	4,564.00	5,212.00
	成果指標2	[ 人 ]	8,594.00	8,563.00	9,243.00	9,342.00
	活動指標1	[ 件 ]	186.00	186.00	144.00	119.00
	活動指標2	[ 件 ]	1,074.00	1,078.00	1,100.00	1,045.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	今回で2回目のサークル発表会には約300名もの参加者があり、日頃のサークル活動成果を発表してもらった。このように公民館事業やサークル活動を通して、地域の絆が強くなり、縦や横に張り巡らされたネットワークは少しずつではあるが広がっており、高齢者が居場所や生きがいを見つける機会にもなっている。また、当公民館は立地条件がよいので、橋本地区管内以外の方にも多く利用しており、事業への参加者はリピーターが多く、参加者数においても堅調で大幅な増減はない。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	新規の公民館利用者を獲得できるような環境や事業を展開していく。特に男性と就業世代、そして高齢者をターゲットにした事業を創意工夫する。小・中学校との連携も検討すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	13,620	14,039	14,163	13,706	15,782
	直接費	事業費	(6)	13,620	14,039	14,163	13,706	15,782
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	13,620	14,039	14,163	13,706	15,782
	人件費	人件費	(9)	0	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	13,620	14,039	14,163	13,706	15,782	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	206	214	219	214		

事業達成のための細事業	整理番号	名称
	1	地区公民館管理業務
	2	講座・サークル活動等事業
	3	その他地区公民館管理運営に関する業務
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

		050810 紀見北地区公民館管理運営事業				
事務事業	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	管内住民及び橋本市民					
事務事業目的	地域連帯感の醸成 生涯学習活動の促進 文化芸術の振興 子育て支援の充実 健康増進・スポーツ振興等を公民館活動の目的としている。					
事務事業内容	ふるさと展望、8区合同夏まつり：運営委員を中心に各区・自治会、学校、関係団体他で実行委員会を結成し事業の企画から実施まで住民主体で毎年開催。登録サークル：44団体が登録。現在登録会員数は600人を超えている。集団活動の拠点として毎日集い・学び・結ぶを实践。文化・芸術の振興：地域の隠れた優れた芸術家の掘り起こしに努め、優れた音楽・美術・映画等を市民に提供。子育て支援の充実：乳幼児親子サークルの活動支援や、「フレッシュママ交流会」を継続的に開催。健康増進・スポーツの振興：老人会を中心にGG大会を毎年開催。					
計画法令	社会教育法、橋本市公民館設置条例及び管理条例、橋本市立文教施設利用に関する条例					
成果指標	1.主要事業参加人数(夏まつり ふるさと展望) 2.サークル活動及び一般貸館参加人数					
活動指標	1.年間事業実施回数 2.サークル活動及び一般貸館件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
	成果指標2	[ 人 ]	19,566.00	17,391.00	17,271.00	18,268.00
	活動指標1	[ 回 ]	66.00	67.00	91.00	117.00
	活動指標2	[ 件 ]	1,280.00	1,318.00	1,388.00	1,366.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	地域交流事業である「8区合同夏まつり」「ふるさと展望」は合わせて3,000人もの参加があり、地域に根付いた事業となっている。また、その他館主催事業への関心度も高く、3,000人以上の参加があった。事業を通して若年層から高齢者まで世代を超えた住民のつながりが生まれ地域へ参画するきっかけとなっている。少子高齢化、核家族化、価値観の多様化、地域の連帯感の希薄化などにより、地域への関心が薄れるという状況の中で、様々な知識を身につけたり、地域の人たちと交流を深めることで、より豊かな人生が送れるよう、学習活動や文化芸術活動、地域の多様な課題解決のための学びが必要とされている。地域作りために、公民館が果たしている役割は大きいと言える。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	館の利用や事業参加のリピーター率が非常に高いため、新規の事業参加者を獲得できるような工夫をすること。「ふるさと展望」については、少子高齢化により、地域の担い手である各団体が、弱体化しており、地域交流事業を続けていくことが厳しい部分も見受けられるため、今後の事業について検討すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	18,198	12,841	12,908	12,703	13,000
	直接費	事業費	(6)	18,198	12,841	12,908	12,703	13,000
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	18,198	12,841	12,908	12,703	13,000
	人件費	人件費	(9)	0	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	18,198	12,841	12,908	12,703	13,000	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	275	196	199	198		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	地区公民館管理業務
	2	紀伊見峠「ふるさと展望」委託事業
	3	講座・サークル活動等支援事業
	4	その他、地区公民館管理運営に関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

		050811 山田地区公民館管理運営事業				
事務事業	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民(主として地域住民)					
事務事業目的	生涯学習施設として、地域住民の学習ニーズに沿った講座の開催やサークル活動の支援、学習成果の発表機会の提供を行い、住民の交流を促す。また、地域交流事業を行い、子どもから高齢者まで住民一人ひとりが主体的に地域づくりに参加していく機会の創出を図る。					
事務事業内容	子育て支援、夏休み期間の児童生徒対象講座、成人対象講座、「観月芋煮会」などの各種事業を行っている。最大の特徴である地域交流事業は「ふれあって！せいぶ」と題し、西部中学校で開催している。実行委員会形式で、山田地区公民館運営委員会、山田地区人権啓発推進委員会、西部小・中学校、同PTA、紀北工業高校、岸上・柏原・山田保育園、同PTA、子ども会、消防団、婦人団体、老人会、山田駐在所連絡協議会で構成されている。メインイベントの他に、日頃の学習成果を発表する演芸大会や作品展、模擬店、駐在所連絡協議会の啓発と実演が催される。					
計画法令	社会教育法、橋本市立公民館設置及び管理条例、橋本市立文教施設利用に関する条例					
成果指標	1. 山田（H27まで西部）地区公民館主催事業及び地域交流事業参加者人数 2. 講座、サークル活動及び一般貸館参加者人数					
活動指標	1. 山田（H27まで西部）地区公民館主催事業及び地域交流事業件数 2. 講座、サークル活動及び一般貸館件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	3,509.00	3,109.00	2,770.00	3,266.00
	成果指標2	[ 人 ]	6,393.00	7,152.00	6,897.00	8,929.00
	活動指標1	[ 件 ]	100.00	93.00	99.00	110.00
	活動指標2	[ 回 ]	599.00	613.00	650.00	875.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	「ふれあって！せいぶ」は、毎回1000人を越える来場者がある。この地域交流事業を通して子どもから高齢者まで世代を越えた住民のつながりが生まれ地域参加への機会となっている。また、住民間の関係が希薄である時代背景の中で学校と家庭と地域が協力を図りながら地域づくりに向けた活動を行っている点においても重要視する必要がある。このような地域力は社会問題の解決に向けてますます見直されてきていると言える。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	事業に参加する住民のリピーター率は高いため、新規の参加者や参加率が低い男性の参加者を呼び込む工夫を検討すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	1
		一般財源	(5)	11,144	11,928	12,488	13,117	13,392
	直接費	事業費	(6)	11,144	11,928	12,488	13,117	13,393
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	11,144	11,928	12,488	13,117	13,393
	人件費	人件費	(9)	0	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	11,144	11,928	12,488	13,117	13,393	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	169	182	193	204		

事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	地区公民館管理業務
	2	講座・サークル活動等事業
	3	地域交流事業
	4	その他地区公民館管理運営に関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		



# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

050812 恋野地区公民館管理運営事業						
事務事業	施策体系 050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進					
	事業区分1 ソフト事務事業 事業期間 平成18年度 ~					
	事業区分2 継続 実施主体 市					
	事業区分3 市単独事業 事業区分4 自治事務					
対象	市民(主として地域住民)					
事務事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連帯感の熟成と住民一人ひとりが街づくりに参加できるシステムを構築する。</li> <li>・施設の適正管理と安全性の確保を行い、生涯学習の場として利用の促進を図る。</li> </ul>					
事務事業内容	<p>1. 館主催事業 子ども対象フリースクール(10回キャンプファイア含む)、三世交流の集い(年2回)、文化祭(2日間)、料理教室(年6回)、夏休み子ども向け事業(8件)、大人対象事業(防災ずきん作り他17件)、こいの懐メロ物語、香りのもの作り(年6回)、納涼盆踊り大会、人権講演会、こいののだ自慢、人形劇、ほたる観察など幅広い年代の人達に参加してもらえるよう、地域の連携が深まるような事業の展開を行っている。 2</p> <p>・毎月の館だよりの発行(広報活動) 3</p> <p>予約貸付、貸館、施設設備の管理業。</p>					
計画法令	社会教育法、橋本市立公民館設置及び管理条例、橋本市立文教施設利用に関する条例					
成果指標	<p>1. 恋野地区公民館主催事業参加者人数</p> <p>2. サークル活動及び一般貸館参加者人数</p>					
活動指標	<p>1. 恋野地区公民館主催事業実施件数</p> <p>2. サークル活動及び一般貸館件数</p>					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	2,523.00	2,564.00	2,595.00	2,433.00
	成果指標2	[ 人 ]	10,242.00	10,366.00	10,350.00	10,138.00
	活動指標1	[ 件 ]	69.00	70.00	89.00	70.00
	活動指標2	[ 件 ]	666.00	761.00	830.00	884.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	<p>地域密着型の公民館である。公民館、小学校、地域との連携が出来ており、事業を展開している。公民館と地域ボランティアの協働で企画、運営するなど地域の拠点として活動しており、市民サービスにもつながっている。地域住民だけでなく、全市民が安心・安全に利用できる施設であり、生涯学習活動を始めるきっかけづくりやそれに伴う仲間づくりも出来ている。また、子育て世代が集う場所としての役割をなしている。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>地域課題や特性を鑑みまた画一的にならないように事業を展開する必要がある。少子高齢化の社会の変化に対応し、各世代の地域住民が気軽に利用できる拠点となる居場所づくりとなる事業を開催すること。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	11,301	11,571	12,342	12,204	12,302
	直接費	事業費	(6)	11,301	11,571	12,342	12,204	12,302
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	11,301	11,571	12,342	12,204	12,302
	人件費	人件費	(9)	0	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	11,301	11,571	12,342	12,204	12,302	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	171	177	190	190		

事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	地区公民館管理業務
	2	講座・サークル活動等支援事業
	3	地区公民館管理運営に関する業務
	4	その他
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030011

教育委員会事務局

地区公民館

050813 高野口地区公民館管理運営事業						
事務事業	施策体系 050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進					
	事業区分1 施設等維持管理・運営 事業期間 平成18年度 ~					
	事業区分2 継続 実施主体 市					
	事業区分3 市単独事業 事業区分4 自治事務					
対象	地区公民館、市民					
事務事業目的	教育指針に基づき、地元住民（幼児から老人まで）から日常必要とする課題を汲み上げ、住民自ら集まり、学び、つながり、そして知識を得て、参加したくなる情報を発信し、整った環境のもとで、適正に維持管理することにより、快適、安全な施設利用ができ、効果的に学習活動が行われるよう、それを支援し、実施拠点になる。					
事務事業内容	予約貸付、貸館、施設修繕、施設設備の管理と魅力ある館主催事業を展開する。主催事業の主な取り組みとしては、納涼盆踊り大会・文化祭・地域ブロック別活動（ソフトボール・グランドゴルフ等）があり、その他年齢別事業として、乳幼児対象事業（子育てサークル・読み聞かせ会等）・児童生徒対象事業（陶芸・書道・工作・科学教室・子どもの遠足等）・成人対象事業（味噌作り・ミニウォーキング・ソフトバレーボール大会等）がある。また、講師の大部分は、地元住民で対応している。					
計画法令	社会教育法					
成果指標	1.高野口地区公民館主催事業参加人数 2.サークル活動及び一般貸館参加人数					
活動指標	1.高野口地区公民館主催事業実施件数 2.サークル活動及び一般貸館件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	3,186.00	2,787.00	3,389.00	5,611.00
	成果指標2	[ 人 ]	32,062.00	33,235.00	27,813.00	29,175.00
	活動指標1	[ 回 ]	75.00	85.00	88.00	116.00
	活動指標2	[ 件 ]	2,782.00	3,432.00	2,521.00	2,385.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	文化祭、盆踊り大会、スポーツ事業等、地域のニーズに対応したバラエティー豊かな事業を展開している。また約70の多種多様なサークルが活発に活動している。本館の特徴として退職教員や大学生等が講師となって小中学校生に補充学習する「寺子屋塾」や子ども達から「町づくり」の提言をしてもらい、その意見をもとに大人も一緒に考える「子ども議会」等を開催している。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	前年度中止であった盆おどりの開催や、小学校への読み聞かせの事業などの新規事業の取組などにより事業参加人数は増加した。今後も地域の拠点となるよう事業を展開していくこと。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	19,296	19,595	19,750	19,360	20,270
	直接費	事業費	(6)	19,296	19,595	19,750	19,360	20,270
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	19,296	19,595	19,750	19,360	20,270
	人件費	人件費	(9)	6,913	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.00	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.00	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	26,209	19,595	19,750	19,360	20,270	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	397	299	305	302		

事業達成のための細事業	整理番号	名称
	1	地区公民館管理業務
	2	歩行者天国補助金事業
	3	講座・サークル活動等事業
	4	その他の地区公民館管理運営に関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03040001

教育委員会事務局

文化スポーツ室

事務事業	050818 名古屋教育集会所管理運営事業					
	施策体系	050212 (生涯学習)生涯学習活動の促進				
	事業区分1	施設等維持管理・運営	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民					
事務事業目的	市民の学習に対する多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習場所を提供し、生涯学習の振興を図る。					
事務事業内容	社会教育を推進するための市民の自主学習の場の提供。					
計画法令	橋本市立教育集会所設置及び管理条例					
成果指標						
活動指標	1. 利用者数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ ]				
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 人 ]	13,781.00	13,266.00	5,779.00	6,059.00
	活動指標2	[ ]				
	活動指標3	[ ]				
成果効果	教育集会所としての目的はすでに達したとして旧高野口町時代に集会所指導事業は終了しており、現在は貸館として例年5,000人/年を越える利用がある。					
評価	今後の方向性	休廃止の方向で検討				
	教育集会所としての役割を終えていると考えられるが、公民館の補完施設的な利用実態があることを踏まえ、「橋本市公共施設等総合管理計画 個別方針」に基づき、地元と協議し移譲を進めること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	552	475	454	456	482
	直接費	事業費	(6)	552	475	454	456	482
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	552	475	454	456	482
	人件費	人件費	(9)	318	464	464	635	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.05	0.05	0.05	0.05	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.00	0.00	0.02	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.06	0.05	0.05	0.07	
		トータルコスト (6)+(9)	(13)	870	939	918	1,091	482
		住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150	
		市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	13	14	14	17	

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03040001

教育委員会事務局

文化スポーツ室

事務事業	050901 図書館管理運営事業					
	施策体系	050213 (生涯学習) 図書サービスの充実				
	事業区分1	施設等維持管理・運営	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民					
事務事業目的	人々の学習する権利、知る権利を保障するために、1人でも多くの人々が生涯学習の場として図書館を利用し、ともに文化を育てていくことができる図書館サービスの提供および向上と充実を図ります。					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書資料の収集・整理・保存と、次世代への文化の継承。</li> <li>・ 利用者の視点に立った図書館運営。</li> <li>・ 図書資料を活用した生涯学習活動展開の支援。</li> <li>・ 地域の人々への図書館利用の働きかけ。</li> </ul>					
計画法令	図書館法，望ましい基準（告示），橋本市立図書館設置及び管理条例 等					
成果指標	成果指標1：図書等貸出件数					
活動指標	活動指標1：蔵書冊数 ，活動指標2：図書カード新規総発行枚数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 件 ]	219,241.00	208,764.00	227,019.00	234,072.00
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 件 ]	142,120.00	146,216.00	146,476.00	151,404.00
	活動指標2	[ 件 ]	1,256.00	919.00	1,108.00	1,277.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	<p>ICタグ連携システムによる貸出返却の効率化が図れている反面、未添付本への対応も要している。幅広い年齢層を対象とした読書会、図書館講座やビブリオバトルの開催、赤ちゃんと保護者対象のお話会の定着など主催行事充実に努めた。テーマ展示や季節毎の本の紹介、階段を利用した壁面作りでメッセージや絵本を四季と共に楽しんでいただく工夫をした。学校図書館支援スタッフとの連携による市内全小学校への移動図書館巡回実施が出来た。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>市民の主體的な学びや活動を支援するため、公民館や郷土資料館等との具体的な連携協力を図ること。 また、学校への資料提供や児童生徒の読書推進に努めるため、学校図書館支援スタッフをはじめ図書館ボランティア等との連携を図ること。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	71	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	128	80	43	84	1,002
		一般財源	(5)	40,413	38,401	44,807	38,403	41,006
	直接費	事業費	(6)	40,541	38,481	44,921	38,487	42,008
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	40,541	38,481	44,921	38,487	42,008
	人件費	人件費	(9)	83	0	0	0	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.01	0.00	0.00	0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.01	0.00	0.00	0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	40,624	38,481	44,921	38,487	42,008	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	615	588	693	600		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名 称
	1	蔵書収集・整理・保存等資料に係る業務
	2	図書館及び移動図書館運営業務
	3	主催行事・ボランティア支援業務
	4	広報・啓発業務
	5	在地文書等のデジタル化業務
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		



# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	051001 こどもまつり・健康ひろば事業					
	施策体系	050214 （生涯学習）まちづくりとの連携強化				
	事業区分1	補助金交付事業	事業期間	平成21年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	団体		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民、各種団体					
事務事業目的	地域人材の育成、生涯学習による地域づくりの契機とする。					
事務事業内容	「学び」、「遊び」、「健康」をテーマとしたイベントを開催する。					
計画法令						
成果指標	1.参加者数 2.参加団体数					
活動指標	1.実行委員会開催回数 2.参加団体会議開催回数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ 人 ]	3,000.00	3,300.00	3,600.00	3,200.00
	成果指標2	[ 団体 ]	33.00	38.00	38.00	38.00
	活動指標1	[ 回 ]	4.00	5.00	4.00	5.00
	活動指標2	[ 回 ]	4.00	4.00	4.00	4.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	平成28年度は、一週前に「まっせ橋本」が開催されており、子供向け・親子向けのイベントもあり、すこやか橋本 まなびの日への参加者が遠のくのでは、との危惧があった。しかし、当日は悪天候にも関わらず、3,200人も参加者があり、この事業がより多くの市民に認識され、定着していることがわかった。一定効果があったものと思われる。					
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続				
	模擬店や体育館ロビーなど、雨の日の対策を検討すること。 「健康ひろば」と「こどもまつり」の統合で始まった事業であることから、健康課の積極的な参画を促す。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	1,061	1,200	1,200	1,080	1,080
	直接費	事業費	(6)	1,061	1,200	1,200	1,080	1,080
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	1,061	1,200	1,200	1,080	1,080
	人件費	人件費	(9)	3,088	2,635	5,088	6,414	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.45	0.42	0.83	0.93	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.00	0.00	0.02	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.46	0.42	0.83	0.95	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	4,149	3,835	6,288	7,494	1,080	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	63	59	97	117		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	051003 学校支援地域本部事業					
	施策体系	050214 (生涯学習)まちづくりとの連携強化				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成20年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	国県補助事業	事業区分4	自治事務		
対象	地域住民、子ども、学校					
事務事業目的	地域の人、団体のつながりを広げ、「地域ぐるみの子育て 大人も子どもも共に育ち合う地域づくり」を促進する					
事務事業内容	地域での人や団体のつながりを広げることを目指して、地域コミュニティ本部を設立する。学校や子どもを中心に支援の輪を広げ、子どもと大人の交流を図るとともにおとな同士のつながりを深め、地域コミュニティの再構築を図る					
計画法令						
成果指標	1. 学校支援活動 2. 支援者数					
活動指標	1. 地域コミュニティ本部設置数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ 回 ]	112.00	113.00	148.00	178.00
	成果指標2	[ 人 ]	330.00	358.00	444.00	360.00
	活動指標1	[ 箇所 ]	2.00	3.00	3.00	4.00
	活動指標2	[ ]				
	活動指標3	[ ]				
成果効果	<p>高野口中学校区でコーディネーター1名設置。図書支援や家庭科の授業補助、また校外学習時の見守りなどに協力。</p> <p>学文路・清水地域では本部会議にて地域と学校の要請を調整。地域清掃活動や防災訓練など実施。本部会議は年5回開催。</p> <p>紀見東中学校区では各小学校単位でコーディネーター3名設置。1/2成人式や9校園交流会などを実施。</p> <p>隅田中学校区で本部が発足。各小学校単位でコーディネーター3名配置。4校交流会や地域ボランティアに向けた講演会など実施。</p>					
評価	今後の方向性	拡充(予算増額)				
	<p>共育コミュニティの推進は、橋本市生涯学習推進計画の重点目標となっている。現在共育コミュニティ本部の未設置地区(2地区)についても設置を行う。共育コミュニティ本部の事業実施の支援体制を整え、継続的な活動を支える仕組みづくりの必要がある。また事業拡大による予算措置も計画的に拡充していく。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	746	538	672	752	1,516
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	373	269	336	376	3,416
	直接費	事業費	(6)	1,119	807	1,008	1,128	4,932
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	1,119	807	1,008	1,128	4,932
	人件費	人件費	(9)	1,940	3,750	2,644	3,434	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.22	0.44	0.37	0.52	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.00	0.00	0.01	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.23	0.44	0.37	0.53	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	3,059	4,557	3,652	4,562	4,932	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	46	70	56	71		

事務事業達成のための細事事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03040001

教育委員会事務局

文化スポーツ室

事務事業	051101 保健体育総務業務					
	施策体系	050221 (生涯スポーツ) 生涯スポーツの推進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民					
事務事業目的	市民の健康増進を図るとともに、スポーツの振興を促進する。 名誉市民である前畑秀子さんの生誕100年記念行事を実施するとともに、NHKの連続ドラマ小説(朝ドラ)を誘致するために必要な事業を行う。(所管課:文化スポーツ室(H25~28)、朝ドラ誘致室(H29~))					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから高齢者等まで、幅広い年齢層を対象とした各種スポーツ情報の提供を図るとともに、初心者でも気軽に参加できるイベントや大会の開催、各種スポーツ教室などの支援を行う。</li> <li>各種スポーツ団体や地域での自主的なスポーツ活動を支援し、また、団体・サークル間の交流を促進する。</li> <li>実行委員会を設置し、朝ドラ誘致に関することや、誘致に係る関係機関との総合調整を行う。2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに誘致することを目指す。</li> </ul>					
計画法令	スポーツ基本法					
成果指標						
活動指標	1. スポーツ推進審議会活動回数 2. スポーツ推進員活動回数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ ]				
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 回 ]	2.00	1.00	1.00	2.00
	活動指標2	[ 回 ]	115.00	115.00	125.00	132.00
活動指標3	[ ]					
成果効果	<p>スポーツ推進審議会およびスポーツ推進委員会の活動を積極的に行うことで、市民全体への生涯スポーツの広がりを進めることができた。平成28年度初めてグラウンド・ゴルフ大会を開催した。親子の絆を深め、大人と子どもが世代をこえて交流し、たのしいふれあいの場となった。また、体力テスト会場でのサポートなど、市民の体力向上に貢献できた。</p> <p>平成28年9月1日~10月30日の期間においてガバメントクラウドファンディングを実施して、朝ドラ誘致活動に賛同してくれる方から寄附金を募ったところ、19名の方から合計210,000円の寄附金が集まった。また、ガバメントクラウドファンディングは、インターネットを通じて実施していることもあり、寄附者以外の方達にも前畑秀子さんを知ってもらえる機会となっている。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>生涯スポーツとして、スポーツに親しむ機会を提供するとともに、新たな大会を開催するなどスポーツ推進委員の活動の場を広げた。</p> <p>一方で、スポーツ推進委員の高齢化が進んでいるので平成28年度において20代の推進委員1名を追加したが、引き続き若い委員への世代交代を検討すること。</p> <p>前畑秀子顕彰関連事業は、平成29年度より朝ドラ誘致室を立ち上げ、より重点的に取り組んでいる。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
	直接費	一般財源	(5)	4,883	2,600	8,106	2,602	1,211
		事業費	(6)	4,883	2,600	8,106	2,602	1,211
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
	人件費	人件費以外(6)-(7)	(8)	4,883	2,600	8,106	2,602	1,211
		人件費	(9)	1,820	7,741	9,120	8,401	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.30	0.95	1.40	0.89	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.08	0.00	0.00	0.28	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.38	0.95	1.40	1.17	
		トータルコスト (6)+(9)	(13)	6,703	10,341	17,226	11,003	1,211
		住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150	
		市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	101	158	266	172	

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	スポーツ推進審議会業務
	2	スポーツ推進委員会業務
	3	社会体育団体育成業務
	4	その他保健体育総務に関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03040001

教育委員会事務局

文化スポーツ室

事務事業	051102 市民体育振興事業					
	施策体系	050221 (生涯スポーツ)生涯スポーツの推進				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民					
事務事業目的	市民の健康増進を図るとともに、スポーツの振興を促進する。					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者等まで、幅広い年齢層を対象とした各種スポーツ情報の提供を図るとともに、初心者でも気軽に参加できるイベントや大会の開催、各種スポーツ教室などの支援を行う。</li> <li>・各スポーツ団体や地域での自主的なスポーツ活動を支援し、また、団体・サークル館の交流を促進する。</li> </ul>					
計画法令						
成果指標	1. ジュニア駅伝順位					
活動指標	1. スポーツ表彰受賞数・団体数 2. ジュニア駅伝取組み校数 3. 市民総合体育大会競技数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ 位 ]	14.00	6.00	5.00	6.00
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 団体 ]	65.00	70.00	51.00	57.00
	活動指標2	[ 校 ]	22.00	23.00	21.00	21.00
	活動指標3	[ 種類 ]	30.00	30.00	29.00	29.00
成果効果	市民スポーツへの関心が高まる中、練習量を増やす等積極的に取り組んだ結果、ジュニア駅伝の6位入賞など市民の体力向上につながった。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	市民がスポーツに取り組むすそ野を広げ、一人一人の体力向上になお一層努める。また、ジュニア駅伝の選手強化については小中学校との連携を深めると共に他のスポーツとの両立させ上位を目指していく。マラソン大会、陸上記録会などで優秀な成績者をピックアップし、選手層の充実と競技力向上に努める。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	1,666
		一般財源	(5)	3,909	3,845	3,718	3,675	2,083
	直接費	事業費	(6)	3,909	3,845	3,718	3,675	3,749
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	3,909	3,845	3,718	3,675	3,749
	人件費	人件費	(9)	7,816	11,600	14,055	8,733	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.03	1.55	2.10	0.91	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.25	0.00	0.00	0.28	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.28	1.55	2.10	1.19	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	11,725	15,445	17,773	12,408	3,749	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	177	236	274	193		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	スポーツ賞表彰事業
	2	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会事業
	3	市民総合体育大会事業
	4	その他市民体育振興に関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		



# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03040001

教育委員会事務局

文化スポーツ室

事務事業	051103 体育振興団体支援事業					
	施策体系	050221 (生涯スポーツ)生涯スポーツの推進				
	事業区分1	補助金交付事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	新規	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市民					
事務事業目的	市民の健康増進を図るとともに、スポーツの振興を促進する。					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者等まで、幅広い年齢層を対象とした各種スポーツ情報の提供を図るとともに、初心者でも気軽に参加できるイベントや大会の開催、各種スポーツ教室などの支援を行う。</li> <li>・各スポーツ団体や地域での自主的なスポーツ活動を支援し、また、団体・サークル間の交流を促進する。</li> </ul>					
計画法令	橋本市補助金交付規則					
成果指標	1. マラソン大会市民参加者数					
活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 活動回数(スポーツ少年団)</li> <li>2. 活動回数(体育協会)</li> <li>3. 活動回数(マラソン実行委員会)</li> </ul>					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	1,915.00	1,680.00	2,188.00	1,701.00
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 回 ]	7.00	7.00	9.00	10.00
	活動指標2	[ 回 ]	5.00	4.00	4.00	4.00
	活動指標3	[ 回 ]	7.00	8.00	8.00	8.00
成果効果	橋本市の中でも橋本マラソンは大きなイベントの一つでもある。平成28年度については、悪天候で、土曜日開催ということもあり他のマラソン大会との兼ね合いもあったにも関わらず、参加者数が多く生涯スポーツへの関心と取り組みは広がっている。					
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続				
	<p>走路について、市内主要幹線を通行制限等をして使用していることから、通行車両の誘導及びランナーの安全な走行を確保するため、警備員や走路員の適切な配置が必要。参加者等の駐車場について、運動公園内駐車場を利用しているが、参加者等が増加する中で駐車台数が限界となりつつある。また、運動公園の出入り口は1箇所しかなく、その1箇所をマラソン走路として使用しており全種目終了するまで車両の通行ができないため、参加者からの不満の声が多く運動公園以外での駐車場等の確保について検討が必要。その他のスポーツ少年団補助金、体育団体活動補助金については補助額の削減にむけ検討すること。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	3,200	3,200	3,200	0	0
		一般財源	(5)	2,740	2,740	2,740	5,940	5,915
	直接費	事業費	(6)	5,940	5,940	5,940	5,940	5,915
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	5,940	5,940	5,940	5,940	5,915
	人件費	人件費	(9)	8,638	9,106	8,732	9,524	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.09	1.30	1.40	0.92	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.26	0.00	0.00	0.28	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.35	1.30	1.40	1.20	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	14,578	15,046	14,672	15,464	5,915	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	221	230	226	241		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	スポーツ少年団補助事業
	2	体育団体活動補助事業
	3	橋本マラソン補助事業
	4	体育関係団体負担金業務
	5	その他体育振興団体支援に関する業務
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03040001

教育委員会事務局

文化スポーツ室

事務事業	051206 県立橋本体育館管理運営事業					
	施策体系	050222 (生涯スポーツ) スポーツ施設等の利用促進				
	事業区分1	施設等維持管理・運営	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	国(県)		
	事業区分3	その他事業	事業区分4	自治事務		
対象	利用者					
事務事業目的	施設の適正管理と安全性の確保を行い、市民に親しまれ利用しやすい施設にするとともに、施設の健全経営に努める					
事務事業内容	イベントや大会、各種スポーツ教室を開催するとともに、広報やホームページなどを通じてさまざまな情報を提供する					
計画法令	和歌山県立橋本体育館設置及び管理条例					
成果指標	1. 利用料金収入 2. 施設使用料収入					
活動指標	1. 県立体育館利用者数 2. 各種スポーツ教室等開催数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 千円 ]	21,341.00	19,904.00	19,284.00	22,000.01
	成果指標2	[ 千円 ]	21,341.00	19,904.00	19,284.00	22,000.01
	活動指標1	[ 人 ]	123,502.00	115,948.00	118,070.00	116,933.00
	活動指標2	[ 回 ]	2,221.00	1,072.00	1,109.00	994.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	自主事業としての各種スポーツ教室が減少してきている。有名講師の招致に成功しており、FM橋本、SNSの利用より広範囲に周知していく。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	平成30年度までの県指定管理期間中は現状どおりとする。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	69,302	71,282	71,282	69,861	69,861
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	16,181	17,441	20,136	22,000	19,484
		一般財源	(5)	3	1	2,623	2,228	7,990
	直接費	事業費	(6)	85,486	88,724	94,041	94,089	97,335
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	85,486	88,724	94,041	94,089	97,335
	人件費	人件費	(9)	11,130	10,214	13,279	11,982	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.00	1.10	1.43	1.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.25	0.00	0.00	0.32	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.25	1.10	1.43	1.32	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	96,616	98,938	107,320	106,071	97,335	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	1,462	1,511	1,656	1,653		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	051301 子ども冒険村事業					
	施策体系	050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	市内各小学校5年生					
事務事業目的	自治意識、創造性を身につけ自主的に行動できる子どもを育てる。					
事務事業内容	橋本市の子どもが夏休みを利用して、奥高野の大自然の中で、汗を流し工夫をこらして自らの力で共同体(村)をつくりあげ、この中で生活を営むことによって自治意識を育て、豊かな創造性を身につけ、自主的に行動できる子どもを育てる。特に、衣・食・住(生活)の大切さや仲間と共に汗を流す楽しさ、物を造る喜びなどを体験する。子ども冒険村は、中学生ボランティア・青年リーダーを養成するプログラムの一環でもある。					
計画法令						
成果指標	1.中学生ボランティア登録数					
活動指標	1.冒険村参加申込者数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ 人 ]	38.00	29.00	24.00	23.00
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 人 ]	75.00	69.00	76.00	92.00
	活動指標2	[ ]				
	活動指標3	[ ]				
成果効果	参加児童の学校・地域の垣根を越えた交流、青年リーダーとの世代間交流を図ることが出来た。また、自然の中で自分たちの力で暮らすことで、普段の生活がいかに恵まれているかを肌で感じてもらった。本事業の参加児童が、数年後に中学生ボランティアを経て青年リーダーとして活躍してもらえることが期待できる。					
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続				
	子ども達の指導者である青年リーダーの人員確保のため、長いスパンで関心を維持する仕組み作りに取り組むこと。また、中学生ボランティアクラブでの活動中にも青年リーダーとの交流をはさみ、一緒に事業を重ねることで青年リーダーとして帰って来やすい環境を整えること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	720	407	720	720	720
	直接費	事業費	(6)	720	407	720	720	720
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	720	407	720	720	720
	人件費	人件費	(9)	4,399	3,045	1,946	3,382	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.65	0.62	0.34	0.59	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.01	0.00	0.01	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.66	0.63	0.34	0.60	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	5,119	3,452	2,666	4,102	720	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	77	53	41	64		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	051302 青少年育成団体等支援事業					
	施策体系	050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	その他		
	事業区分3	その他事業	事業区分4	自治事務		
対象	青少年、関係団体					
事務事業目的	青少年の健全育成及び地域における青少年の健全育成活動を促進する					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが団体活動を通じて、仲間づくりや社会の一員としての自覚を高められるよう、地域や学校と連携を深めながら、子どもの自主性を活かした組織の活動を支援する。</li> <li>青少年の地域とのつながりを深めるため、ボランティア活動や地域行事などへの積極的な参画を促進する</li> <li>中学生ボランティアや青年リーダーを育成するため、講習会や研修会を開催する。</li> <li>登下校の見守りや社会を明るくする運動等健全育成の活動を支援する。</li> </ul>					
計画法令						
成果指標	1. 青年リーダーのべ活動人数					
活動指標	1. 青年リーダーボランティア活動回数 2. 社会を明るくする運動標語応募数及び作文コンテスト応募数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ 人 ]	149.00	133.00	181.00	210.00
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 回 ]	24.00	22.00	24.00	28.00
	活動指標2	[ 件 ]	146.00	126.00	123.00	203.00
	活動指標3	[ ]				
成果効果	青少年育成市民会議や保護司会、更生保護女性会、学校等様々な団体が協力して「社会を明るくする運動」に関わり、安全なまちづくりのための市民意識向上に寄与した。青年指導員連絡会（青年リーダー）が11月に中学生ボランティアを対象に研修会を開催した。					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	「社会を明るくする運動」は、関係する団体以外にも広く運動の意義を周知する必要がある。中学生ボランティア向け研修を継続して実施すること。また、青年リーダーの会員減少に備え、中学生の時から青年リーダーに関する意識付けや技能習得の研修等の施策を実施すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	700	725	665	610	610
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	6,180	6,085	6,002	5,668	5,801
	直接費	事業費	(6)	6,880	6,810	6,667	6,278	6,411
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	6,880	6,810	6,667	6,278	6,411
	人件費	人件費	(9)	14,057	14,825	10,349	8,775	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.80	2.09	1.40	1.36	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.04	0.02	0.00	0.03	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.84	2.11	1.40	1.39	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	20,937	21,635	17,016	15,053	6,411	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	317	330	263	235		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名 称
	1	市地域子ども会育成補助事業(市単)
	2	地域組織活動費補助事業(国・県)
	3	地域子ども会活動支援補助事業(県)
	4	市子ども会連絡会補助事業(市単)
	5	市青少年団体連絡協議会補助事業(市単)
	6	社会を明るくする運動補助金事業(市単)
	7	
	8	市青少年育成市民会議補助事業
	9	
	10	中学生ボランティアクラブ事業
	11	その他青少年育成団体等支援に関する業務
	12	青年指導員連絡会事業
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		



# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

051303 はらだ子ども館管理運営事業																	
事務事業	<table border="1"> <tr> <td>施策体系</td> <td colspan="3">050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援</td> </tr> <tr> <td>事業区分1</td> <td>施設等維持管理・運営</td> <td>事業期間</td> <td>平成18年度 ~</td> </tr> <tr> <td>事業区分2</td> <td>継続</td> <td>実施主体</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td>事業区分3</td> <td>市単独事業</td> <td>事業区分4</td> <td>自治事務</td> </tr> </table>	施策体系	050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援			事業区分1	施設等維持管理・運営	事業期間	平成18年度 ~	事業区分2	継続	実施主体	市	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務
	施策体系	050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援															
	事業区分1	施設等維持管理・運営	事業期間	平成18年度 ~													
	事業区分2	継続	実施主体	市													
事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務														
対象	0歳から18歳までの子ども、保護者、地域住民、関係団体、関係施設																
事務事業目的	児童・生徒に健全な遊びの場を提供し達成感を得させると共に、自主性、創造性を育てる。手作り工作やクッキングでは、季節を感じ、家族の有難さを学ぶ。乳幼児の保護者を孤立させず、楽しく子育てするための援助をする。																
事務事業内容	施設の適正管理と安全性を確保する。 工作、手芸教室・エコクラフト教室・絵画教室・うきうきクッキング・季節の行事・スポーツ・遊び・ゲーム・スクラップブックング すくすくクラブ（幼児親子対象） ママタイム（保護者対象） にこにこランド（移動児童館）・夏休みこどもまつり																
計画法令	橋本市立児童館設置及び管理条例																
成果指標	1.利用者数 2.事業参加者数																
活動指標	1.館事業開催数																
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績												
	成果指標1	[ 人 ]	6,139.00	6,893.00	6,103.00	4,001.00											
	成果指標2	[ 人 ]	980.00	875.00	1,499.00	839.00											
	活動指標1	[ 回 ]	146.00	138.00	201.00	157.00											
	活動指標2	[ ]															
	活動指標3	[ ]															
成果効果	誰もが自由に利用できる施設として、児童健全育成の場 安全安心な居場所 異年齢交流の場 子育て支援の場 中高生の居場所 継続した支援が可能であり、長いスパンでのかわりができる。等の機能を発揮し、健康を増進して自主性や社会性を養い、情操を豊かにする役割を果たすことができた。また、「手作り遊び」をテーマに展開している子ども対象の事業の他に、保護者を対象とした事業も実施し、子育て支援に努めた。児童館のない地域の子どもにも児童館活動を体験できるように、移動児童館【にこにこランド】を各小学校で実施し、広域的な活動も展開し、小学校での授業の中で「季節の手作り」と読み聞かせを通して、日本の四季を感じる心を育て、伝統の行事のいわれを伝えることができた。【どんどこプロジェクト】では、子どもが安全の大切さに気づき、自ら地域に伝えることができた。夏休みこどもまつりも大勢の家族連れで賑わった。																
評価	今後の方向性	現状どおり継続															
	児童館は心身の発達的基础である健全な遊びの場を保障していく場として、子どもたちの豊かな人間形成する場である。子育て支援の場となるような事業を実施していくこと。																

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	150
		一般財源	(5)	1,903	1,762	1,754	1,298	1,280
	直接費	事業費	(6)	1,903	1,762	1,754	1,298	1,430
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	1,903	1,762	1,754	1,298	1,430
	人件費	人件費	(9)	440	354	87	82	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.05	0.04	0.01	0.01	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.05	0.04	0.01	0.01	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	2,343	2,116	1,841	1,380	1,430	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	35	32	28	22		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

051304 きしかみ子ども館管理運営事業																																					
事務事業	<table border="1"> <tr> <td>施策体系</td> <td colspan="3">050231 （青少年の健全育成）青少年活動の支援</td> </tr> <tr> <td>事業区分1</td> <td>個人給付</td> <td>事業期間</td> <td>平成18年度 ~</td> </tr> <tr> <td>事業区分2</td> <td>継続</td> <td>実施主体</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業区分3</td> <td>市単独事業</td> <td>事業区分4</td> <td></td> </tr> </table>	施策体系	050231 （青少年の健全育成）青少年活動の支援			事業区分1	個人給付	事業期間	平成18年度 ~	事業区分2	継続	実施主体		事業区分3	市単独事業	事業区分4																					
	施策体系	050231 （青少年の健全育成）青少年活動の支援																																			
	事業区分1	個人給付	事業期間	平成18年度 ~																																	
	事業区分2	継続	実施主体																																		
事業区分3	市単独事業	事業区分4																																			
対象	0歳から18歳までの子ども、保護者、地域住民、関係団体、関係施設																																				
事務事業目的	子どもに学校や家庭ではできない体験をさせ、自主性、創造性を育て、情操を豊かにする。「作る」体験により、手作りの良さを理解し、共に作り上げる達成感を得る。クッキングでは、季節を感じ、自分で作る楽しさを体験する等食育につなげる。夏のプールでは、夏を楽しみ、健康増進し、安全への配慮を学ぶ。子育て中の保護者を孤立させず、楽しい子育てを援助する。																																				
事務事業内容	施設を適正に管理、運営し、安全性を確保する。 工作、手芸教室・エコクラフト教室・ビーズくらぶ・わくわくクッキング・スポーツ・遊び・ゲーム・夏季プール開放・季節の行事（七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、節句等）（子ども対象）、キッズらんど（幼児親子対象） ママ倶楽部（保護者対象）、子ども会対象教室・工作指導（子ども会・子ども会役員対象） にこにこランド「移動児童館」（全小学校対象）、夏休みこどもまつり																																				
計画法令	橋本市立児童館設置及び管理条例																																				
成果指標	1.利用者数 2.館事業参加者数																																				
活動指標	1.館事業開催数																																				
目標達成状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>平成25年度実績</th> <th>平成26年度実績</th> <th>平成27年度実績</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標1</td> <td>[ 人 ]</td> <td>13,807.00</td> <td>12,795.00</td> <td>13,713.00</td> <td>13,005.00</td> </tr> <tr> <td>成果指標2</td> <td>[ 人 ]</td> <td>2,873.00</td> <td>2,586.00</td> <td>2,761.00</td> <td>2,811.00</td> </tr> <tr> <td>活動指標1</td> <td>[ 回 ]</td> <td>213.00</td> <td>223.00</td> <td>222.00</td> <td>205.00</td> </tr> <tr> <td>活動指標2</td> <td>[ ]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標3</td> <td>[ ]</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	成果指標1	[ 人 ]	13,807.00	12,795.00	13,713.00	13,005.00	成果指標2	[ 人 ]	2,873.00	2,586.00	2,761.00	2,811.00	活動指標1	[ 回 ]	213.00	223.00	222.00	205.00	活動指標2	[ ]					活動指標3	[ ]				
			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績																															
	成果指標1	[ 人 ]	13,807.00	12,795.00	13,713.00	13,005.00																															
	成果指標2	[ 人 ]	2,873.00	2,586.00	2,761.00	2,811.00																															
	活動指標1	[ 回 ]	213.00	223.00	222.00	205.00																															
活動指標2	[ ]																																				
活動指標3	[ ]																																				
成果効果	誰もが自由に利用できる施設として、児童健全育成の場 安心安全の場 異年齢の場 子育て支援の場 中高生の居場所 長いスパンで継続した支援が受けられる等の機能を発揮し、健康を増進して自主性や社会性を養い、情操を豊かにする役割を果たすことができた。また、「手作り遊び」をテーマに展開している子ども対象の事業の他に、乳幼児親子・保護者を対象とした事業も実施し、子育て支援に努めた。児童館のない地域の子どもにも児童館活動を体験できるように、移動児童館【にこにこランド】を全小学校で実施し、広域的な活動も展開した。小学校の授業の中で「季節の手作り読み聞かせ」を通して、日本の四季を感じる心を育て、伝統の行事のいわれを伝えることができた。【どんどこプロジェクト】では、子どもが安全の大切さに気づき、自ら地域に伝えることができた。夏休みこどもまつりも、例年大勢の家族連れで賑わっている。																																				
評価	<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>現状どおり継続</td> </tr> </table>	今後の方向性	現状どおり継続																																		
	今後の方向性	現状どおり継続																																			
児童館は心身の発達の基礎である健全な遊びの場を保障していく場として、子どもたちの豊かな人間形成する場である。子育て支援の場となるような事業を実施していくこと。																																					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	3,400	0
		その他	(4)	0	0	0	0	150
		一般財源	(5)	3,038	3,262	3,308	3,496	3,387
	直接費	事業費	(6)	3,038	3,262	3,308	6,896	3,537
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	3,038	3,262	3,308	6,896	3,537
	人件費	人件費	(9)	532	534	174	205	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.06	0.06	0.02	0.03	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.06	0.06	0.02	0.03	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	3,570	3,796	3,482	7,101	3,537	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	54	58	54	111		

事務事業達成のための細事事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

051305 友愛児童館管理運営事業						
事務事業	施策体系 050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援					
	事業区分1 施設等維持管理・運営 事業期間 平成18年度 ~					
	事業区分2 継続 実施主体 市					
	事業区分3 市単独事業 事業区分4 自治事務					
対象	0歳から18歳までの子ども、保護者、地域住民、関係団体、関係施設					
事務事業目的	児童・生徒に健全な遊びの場を提供し達成感を得させると共に、自主性、創造性を育て豊かな情操を育てる。手作り工作やクッキングでは、季節を感じ、家族の有難さを知る。乳幼児の保護者を孤立させず、楽しく子育てするための援助をする。					
事務事業内容	施設の適正管理と安全性を確保する。 工作、手芸教室・折り紙教室・絵画教室・子ども茶道教室・にこにこクッキング・こどもシアター・季節の行事・スポーツ・遊び・ゲーム(子ども対象) スクラップブック、クリスマスパーティー、子ども会工作教室(夏休み) めだかクラブ(幼児親子対象) カーネーションクラブ(保護者対象) にこにこランド(移動児童館)、夏休みこどもまつり					
計画法令	橋本市立児童館設置及び管理条例					
成果指標	1.利用者数 2.事業参加者数					
活動指標	1.館事業開催数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	10,132.00	9,684.00	10,464.00	9,043.00
	成果指標2	[ 人 ]	1,578.00	1,475.00	2,348.00	2,114.00
	活動指標1	[ 回 ]	200.00	185.00	281.00	263.00
	活動指標2	[ ]				
活動指標3	[ ]					
成果効果	遊びとものづくりの機会と場を提供することで、多くの子どもや保護者に利用していただいている。特に、水曜日の放課後や長期休業中などは、工作(ものづくり)教室等を開催し、多くの参加者があり、好評をえている。また、4館の立地条件から、なかなか利用できない子どももいることから、市内すべての小学校で、移動児童館「にこにこランド」を開催し、定着してきている。特に、夏休みこども祭りは好評で、多くの子どもや保護者の参加で、賑わっている。					
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続				
	児童館は心身の発達の基礎である健全な遊びの場を保障していく場として、子どもたちの豊かな人間形成する場である。子育て支援の場となるような事業を実施していくこと。また、学校や公民館等他の施設と事業の重複がある場合は、事業効果の低下や利用者の分散を招くおそれがあるため、連携を検討すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	150
		一般財源	(5)	1,571	1,532	1,544	1,128	1,129
	直接費	事業費	(6)	1,571	1,532	1,544	1,128	1,279
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	1,571	1,532	1,544	1,128	1,279
	人件費	人件費	(9)	532	447	87	82	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.06	0.05	0.01	0.01	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.06	0.05	0.01	0.01	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	2,103	1,979	1,631	1,210	1,279	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	32	30	25	19		

事務事業達成のための細事事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

051306 名古屋児童館管理運営事業						
事務事業	施策体系 050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援					
	事業区分1 施設等維持管理・運営 事業期間 平成18年度 ~					
	事業区分2 継続 実施主体 市					
	事業区分3 市単独事業 事業区分4 自治事務					
対象	子ども、保護者、関係団体(子ども会)等、(学校・公民館・他児童館)等、地域住民					
事務事業目的	子どもに学校や家庭ではできない体験をさせ、自主性、創造性を育て、情操を豊かにする。 。「作る」体験により、手作りの良さを理解し、共に作り上げる達成感を得る。 。クッキングでは、季節を感じ、自分で作る楽しさを体験する等食育につなげる。 。子育て中の保護者を孤立させず、楽しい子育てを援助する。					
事務事業内容	施設を適正に管理、運営し、安全性を確保する。 。工作、手芸教室・リトルクッキング・将棋教室・卓球教室・映画鑑賞会・季節の行事 。スポーツ・遊び・ゲーム等(子ども対象) 。絵本の時間(幼児親子対象) 。マザールーム(保護者対象)、にこにこランド(移動児童館) 。ふれあいルーム(吹奏楽会、ヨガ、ダンス等)、夏休みこどもまつり					
計画法令	橋本市立児童館設置及び管理条例					
成果指標	1.利用者数 2.事業参加者数					
活動指標	1.館事業開催数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	5,770.00	4,936.00	4,862.00	6,009.00
	成果指標2	[ 人 ]	1,621.00	1,414.00	1,473.00	1,680.00
	活動指標1	[ 回 ]	267.00	245.00	247.00	217.00
	活動指標2	[ ]				
	活動指標3	[ ]				
成果効果	「遊び」と「ものづくり」の機会と場を提供することで、多くの子どもや保護者に利用していただいている。特に、水曜日の放課後や長期休業中などは、工作(ものづくり教室)等を開催し、多くの参加者があり、好評をえている。また、4館の立地条件から、日ごろなかなか出来ない子どももあることから、土曜日の午前中に、市内の全小学校(15校)で、移動児童館「にこにこランド」を開催し、多くの親子連れが参加するなど、定着してきている。特に、「夏休み子ども祭り」は好評で、多くの参加者があり、賑わいを見せている。					
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続				
	児童館は心身の発達の基礎である健全な遊びの場を保障していく場として、子どもたちの豊かな人間形成する場である。子育て支援の場となるような事業を実施していくこと。また、学校や公民館等他の施設と事業の重複がある場合は、事業効果の低下や利用者の分散を招くおそれがあるため、連携を検討すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	150
		一般財源	(5)	1,095	1,617	1,378	1,095	1,104
	直接費	事業費	(6)	1,095	1,617	1,378	1,095	1,254
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	1,095	1,617	1,378	1,095	1,254
	人件費	人件費	(9)	440	354	87	82	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.05	0.04	0.01	0.01	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.05	0.04	0.01	0.01	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	1,535	1,971	1,465	1,177	1,254	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	23	30	23	18		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		



# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	051307 その他児童館管理運営事業				
	施策体系	050231 (青少年の健全育成) 青少年活動の支援			
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~	
	事業区分2	継続	実施主体	市	
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務	
対象	子ども、地域住民、関係団体、				
事務事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の健全な遊びをとおして、その健康を増進し、情操を豊かにする指導を行う</li> <li>・子ども会等の地域組織活動の育成助長を図る。</li> </ul>				
事務事業内容	児童館としては、児童厚生員等職員の配置もなく、地元の子ども会が日頃の話し合いや、新入生歓迎会、夏祭り、クリスマス会等に際して使用するに止まっており、地元の集会所として使用されている実態がある。				
計画法令	橋本市立児童館設置及び管理条例				
成果指標					
活動指標					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[ ]			
	成果指標2	[ ]			
	活動指標1	[ ]			
	活動指標2	[ ]			
	活動指標3	[ ]			
成果効果					
評価	今後の方向性	休廃止の方向で検討			
	各々の施設が老朽化している現状があり、耐震化、建替えなど、協議が進みにくい要因がある。公共施設管理計画（個別計画）に沿って地元調整をすすめること。				

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	6,600	0
		その他	(4)	0	83	0	729	281
		一般財源	(5)	29,007	28,809	30,170	29,437	30,579
	直接費	事業費	(6)	29,007	28,892	30,170	36,766	30,860
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	29,007	28,892	30,170	36,766	30,860
	人件費	人件費	(9)	2,250	2,962	3,136	3,876	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.26	0.33	0.35	0.47	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.00	0.00	0.01	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.27	0.33	0.35	0.48	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	31,257	31,854	33,306	40,642	30,860	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	473	486	514	634		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

# 平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	051401 青少年センター事業					
	施策体系	050232 (青少年の健全育成) 非行防止のための環境づくり				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務			
対象	青少年センター、子ども、地域、学校、関係団体					
事務事業目的	関係機関との連携のもと、青少年の非行を未然防止 青少年の問題行動への対応と立ち直り支援					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補導活動</li> <li>・青少年健全育成に係る広報啓発活動（チラシ・立て看板・子ども安全パトロール等）</li> <li>・有害環境浄化活動（有害図書等に係る立ち入り調査、やぎの箱等）</li> <li>・子ども安全教室等各種教室の開催</li> <li>・少年、保護者、学校等との相談や指導による青少年の問題行動への対応及び立ち直り支援活動</li> <li>・善行児童生徒表彰</li> </ul>					
計画法令						
成果指標	1. 立ち直り支援対象者数					
活動指標	1. 広報誌・チラシ等発行回数 2. 立ち直り支援実施回数（のべ） 3. 各種教室開催数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[ 人 ]	15.00	46.00	46.00	19.00
	成果指標2	[ ]				
	活動指標1	[ 回 ]	18.00	16.00	15.00	16.00
	活動指標2	[ 回 ]	27.00	45.00	48.00	13.00
活動指標3	[ 回 ]	25.00	28.00	37.00	24.00	
成果効果	<p>犯罪や触法行為を行った少年や不良ぐ犯行為を繰り返す少年を召致し、少年の悩みや問題点を話し合う中で将来への展望を見つけさせ、更に、保護者に対しても今後の関わり方等についての助言を行うことや立ち直り支援を継続的に実施することで、当センターが当該児童・生徒にとっての居場所になり、精神的安定につながっている。また保護者との関係も深まり気軽に相談できる場所になっている。</p> <p>補導活動や怠学指導、登下校時の安全パトロールを通じて地域との関係性も深まり、学校・地域と協力して啓発活動に取り組んでいる。</p> <p>学校・警察・福祉部局とのハブ的存在として、関係機関をつなぐ連絡調整の役割を果たしている。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	非行問題の発件数は減少傾向にあるものの、依然深夜徘徊、怠学、喫煙、窃盗等課題は多い。これらの問題行動や不登校・引きこもり、さらには虐待等の背景には、保護者による「不適切な養育」があり、青少年の健全な成長を支援するためには、教育委員会と福祉部局が連携して取り組んでいく必要がある。また、ネット利用についても「ネットトラブル」だけでなく、「ネット依存」も顕在化してきており、いろんな機会をとらえて広報・啓発に取り組んでいくこと。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	160	160	160	152	160
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	70	81	93	84	95
		一般財源	(5)	5,474	2,670	5,176	5,229	5,914
	直接費	事業費	(6)	5,704	2,911	5,429	5,465	6,169
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	5,704	2,911	5,429	5,465	6,169
	人件費	人件費	(9)	6,183	6,129	6,964	6,519	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.75	0.65	0.75	0.70	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.02	0.01	0.00	0.02	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.77	0.66	0.75	0.72	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	11,887	9,040	12,393	11,984	6,169	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	180	138	191	187		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		